



みんなで飾り付けたツリー
と記念撮影(11月30日)

手作りグッズで聖夜を迎える

市内各所でクリスマス飾り作り

子どもから大人までクリスマス気分を楽しんでもらおうと、市内各所でイベントが行われました。11月30日には子ども館で「オーナメント作り&点灯式」が行われ、高さ約2メートルのツリーに子どもたちが手作りしたオーナメントをつらし、電飾を点灯しました。また、12月3日に成田公民館で、ドライフラワーや松ぼっくりなどを使いろうそくを美しく装飾する「クリスマス飾り作り教室」が開催。12月7日にも子ども館で、ヒバの木の枝でミニツリーを作る「親子でクリスマスアレンジメント」が開かれるなど、参加者は家庭で飾れるクリスマスグッズ作りを楽しみました。



かわいく飾り付けられるかな(12月7日)

中学生が業務を体験

一日税関支署長

中学生に税関の仕事を知ってもらおうと「一日成田税関支署長」が11月25日、成田空港で行われました。一日署長に任命されたのは玉造中学校2年生の山崎凱斗さんと山下日和さん。委嘱状を交付された後、入国旅券検査場で検査のデモンストレーションを体験するなど業務について学びました。2人は「税関は日本を守る大切な仕事であることが分かった」と話していました。



空港で手荷物検査を体験



試合前に握手を交わす選手たち

全力プレーで親睦深める

日韓国際交流サッカー大会

本市と友好都市である韓国・仁川^{インチョン}広域市中区の交流を深めるため「日韓国際交流サッカー大会」が11月29日、中台運動公園球技場で行われました。大会はことしで13回目を迎え、成田での開催は3年ぶり。18歳以上の青年の部、35歳以上の壮年の部でそれぞれ試合が行われました。雨が降りしきる中、ボールを取ろうと激しく競り合う場面が出るなど、熱を帯びた試合が展開されました。試合後、選手たちはすがすがしい表情で互いの健闘をたたえ合っていました。



生徒も一緒にステップ

異国のダンスを堪能

セルビア民族舞踊団

公演のため来日していたセルビア民族舞踊団が、成田ユネスコ協会による国際交流イベントの1つとして12月3日、玉造中学校1・2年生にダンスを披露しました。伝統的な衣装を身にまとったダンサーたちが、アコーディオンなどの演奏に合わせて息の合った群舞を次々と披露すると、会場に盛大な拍手が沸き起こりました。最後に、団員の手ほどきで一緒に踊った生徒たちは、笑顔で異国のダンスを楽しんでいました。

逃げ込む家を確認

こども110番スタンプラリー

小学生と「こども110番の家」の住人にお互いの顔を知ってもらおうと「こども110番スタンプラリー」が12月7日、美郷台3丁目で行われました。1班8～9人で5班に分かれた参加者たちは、「こども110番の家」の看板が掲げられた家を1軒ずつ回り、住人からスタンプをもらいました。中には、いざというときを想定して、インターホンに「助けて」と叫ぶ小学生もいました。住人の1人は「少しでも危険を感じたらいつでも家に駆け込んでね」とスタンプを押しながら声を掛けていました。



近所の人と
顔なじみに



この看板を目印に



最初にスタートを切ったハーフマラソンの部



ゴールは目前、力の限り最後まで

4,802人が力走

成田POPラン大会

全国ランニング大会100選に6年連続で選ばれている「成田POPラン大会」が11月30日、中台運動公園陸上競技場を発着点に開催されました。全国各地から集まった総勢4,802人は、3kmの部、10kmの部、ハーフマラソンの部に分かれて健脚を競いました。ランナーたちは、沿道の家族や友人などから「頑張れ」「ゴールまであと少し」などと声援を受けながら、ニュータウンや田園地帯を駆け抜けました。

ン